



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



E・N・S通信



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
Saitama Center for Climate Change Actions



Index

星野弘志 新代表理事あいさつ
環境ネットワーク埼玉より
COOL CHOICE ×パリクラブ 21
埼玉
事業紹介・報告
事務局からのお知らせ

代表理事及びセンター長が代わりました

平成30年6月24日（日）に開催された総会において、代表理事が交代しました。



星野 弘志 新代表理事あいさつ

本年6月の総会により新たに代表理事に選任されました星野弘志です。江田前代表理事には、10年にわたり当会の発展にご尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます。今後は監事として引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

さて、今年の夏は、我が国はもとより世界各地で多くの犠牲者を伴う異常気象が頻発しており、その原因として地球温暖化の影響を否定できない状況となっています。地球温暖化は将来世代ばかりでなく、もはや今を生きる私たちにも被害を及ぼす問題であることをしっかりと認識する必要があるのではないのでしょうか。当会もこのことを踏まえて、各種の対策を加速させなければなりません。そのためには、埼玉県地球温暖化防止活動推進センターとしての活動を充実させるとともに、会員団体・企業による各地域での取組をより一層活発化していく必要があります。加えて、2020年東京オリンピック・パラリンピックまであと2年と迫るなか、それに呼応して期間限定で立ち上げたパリクラブ21埼玉や、再生可能エネルギーの普及を担うお日さまクラブの活動も盛り上げていく必要があります。



このため、会の運営に当たっては、今まで以上に理事・運営委員等を通して各会員の皆様の声を反映させていけるように努めていきたいと考えております。

皆様の今まで以上のご参画、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



● 環境ネットワーク埼玉より

平成30年度 通常総会・記念講演会を開催

記念講演「持続可能な社会における森林と私たち」

太田 猛彦氏(さいたま緑のトラスト協会理事長、東京大学名誉教授)



太田氏ご講演の様子

総会時の記念講演会として、今年度は太田猛彦氏から日本の森林の歴史とこれからについて話を伺いました。

かつて日本では、300年以上にわたって燃料の多くを森林資源に頼っていたため、伐採が進み山地が荒廃していました。1960年代以降、化石燃料や化学肥料などの地下資源を本格的に利用し始めたことにより、林業が衰退し現在の森林飽和状態となりました。その結果、表層崩壊等の土砂災害は激減したものの、近年の温暖化等の影響で激しい豪雨による土砂災害が増えつつあると、地球温暖化対策の緊急性を強く訴えられました。現代社会を取り巻く環境が激変した今、都市域を含めてあらゆる場所で“みどり”を増やし、「護る森」と「使う森」を区分して適切な管理をしていくことが必要だということを強調されました。

平成30年度環境ネットワーク埼玉通常総会

記念講演終了後、委任状を含む65正会員の参加を得て通常総会を開催しました。昨年に引き続き埼玉県環境部温暖化対策課石塚智弘課長にご来賓挨拶をいただき、全ての議案について承認されました。特に、今年度は役員を選任に伴い、代表理事として星野弘志が新たに就任しました。会員や関係団体、行政との更なる連携と協力の元、より一層の活動拡大を約束しました。



星野新代表挨拶の様子



江田前代表と秋元事務局長

環境先進事例見学会を開催

恒例の夏の環境保全見学会を8月3日(金)に実施しました。会員を含む36名の参加者を得て、当団体の正会員である積水ハウスのECO FIRST PARK・住まいの夢工場(茨城県古河市)の見学に行きました。午前中は「ECO FIRST PARK」で、昔からの知恵と最先端の技術が盛り込まれた住居型施設の見学や、ゼロエミッションに取り組んでいる資源循環センターの見学を行いました。資源循環センターではリサイクルしにくい量を資源に分別するための解体作業も見ることができました。午後は「住まいの夢工場」の見学でしたが、中でも「安震館」は制震構造と免震構造を体験できる学習施設であり、震度3と震度7の揺れの違いを体験することができ、地震の恐ろしさを実感しました。

見学を通して、最先端の住まい方の工夫や家屋の構造を知ることができ、環境にも考慮した未来の家づくりのヒントを得ることができ、大変参考になりました。



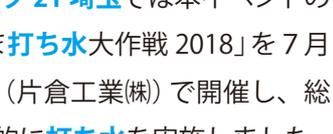
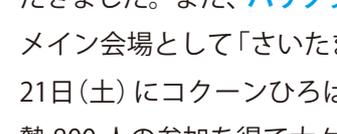
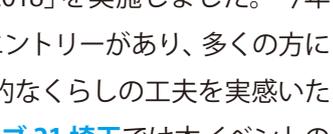
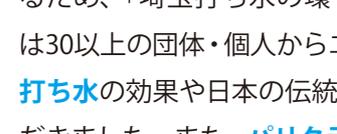
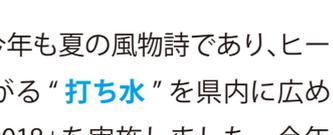
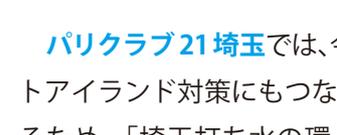
「住まいの夢工場」前での集合写真



COOL CHOICE × パリクラブ21埼玉



[埼玉打ち水の環2018を実施しました]



パリクラブ21埼玉では、今年も夏の風物詩であり、ヒートアイランド対策にもつながる“打ち水”を県内に広めるため、「埼玉打ち水の環2018」を実施しました。今年は30以上の団体・個人からエントリーがあり、多くの方に打ち水の効果や日本の伝統的なくらしの工夫を実感いただきました。また、パリクラブ21埼玉では本イベントのメイン会場として「さいたま打ち水大作戦2018」を7月21日(土)にコクーンひろば(片倉工業株)で開催し、総勢800人の参加を得て大々的に打ち水を実施しました。



さいたま打ち水大作戦2018の様子

[さいたまエコフェスタin Summer2018でCOOL CHOICEの啓発を行いました]



出展ブースの様子



貼って学ぶ省エネ体験



電球比較実験の様子



ぬって学ぶCOOL CHOICE

2018年8月4日(土)浦和コミュニティセンターにて、夏休みの親子を対象とした恒例の「さいたまエコフェスタ in Summer2018」を開催しました。

今回は、昨年好評だった“シールで学ぶ家庭の省エネワークショップ”や、手回し発電による電球比較実験の他に、今年度新たに作成した“ぬり絵で学ぶお家のCOOL CHOICE”を活用し、楽しみながらCOOL CHOICEについて学んでいただきました。また希望者には“うちエコ診断”を実施し、家庭の省エネについてより詳しくアドバイスを行いました。



ドイツエコスタディツアー報告

今回、地域電力の取組を学習するため、環境先進国であるドイツを訪問しました。
これから数回に分けて、見学先の取組をご紹介します。

フライブルク市の“Stadtwerke（シュタットベルケ）”を訪問

埼玉県内でも、秩父市や所沢市のように自治体が出資して、地域で電力会社を立ち上げる取組が始まっています。ドイツでは、同様の取組をStadtwerke（シュタットベルケ）と呼んでおり、近隣の都市が出資し電気、熱、都市ガス、上下水道などのインフラを市民に供給する会社のことをシュタットベルケといいます。

今回は、シュタットベルケ・フライブルクBadenova（株式合資会社）AG&co. KGのバイオガス施設Biogasanlage Eschbach（エッシュバッハ）を訪問しました。

Badenova社は2001年に地域で独立経営を行っていた6ヶ所のシュタットベルケの合併により開業した会社で、フライブルク市と周辺自治体が合計54.8%（フライブルク市が30%以上）を出資し、残り45.2%を大手ガス会社のThugaが出資しています。この会社は合計145の施設を持っており、今回はその一つであるバイオマス発酵によるガス化と地域熱供給を行っている施設を見学しました。

対応者はバーフォアさんという若い女性で、説明によると、この施設は2012年にオープンし、Badenova社のガス化施設の中では一番大きく、従業員は3人とのことでした。

仕組みとしては、まず近隣の80軒の農家から年間405千t～505千tのバイオ資源を有料で受け入れます。内訳はコーンの皮が全体の60%、馬、牛・豚・鶏の糞尿が40%、他に、捨てるようなジャガイモ、タマネギ、ビート等です。農家は以前捨てていたものが、持ち込みをすることで収入の助けとなり、両者がwin・winの関係となっています。



GELOSE（発酵所）

受け入れた資源は、まず水分を切って細かくし、GELOSEという発酵所（2400m³）7カ所で発酵させます。生じたメタンガスを精製し、ガスは販売、余熱は周辺の工業施設へ温水暖房として供給しています。1年間に1200万m³、2300件分のガスを生産し、複数のガス会社へ販売し、利益を得ています。残った消化液は、液肥として農家に無料で配布し、活用してもらっています。

今後の運営上の課題としては、現在は州から補助金が出ているが将来切れてしまうので、ビジネスとして自立することと、IT管理をさらに進め系統的に効率化を図ることとのことでした。周囲はあまり臭いもなく、景観にも配慮された施設でした。



バイオガス施設全景

イブニング・パリクラブを開催しています

パリクラブ21埼玉では、今年度からイブニング・パリクラブと題し、主に勉強会を定期的で開催しています。特に今取組が求められているSDGsを主テーマに、様々な切り口での事例紹介を取り入れて、実践的な勉強会となっています。会員であれば、どなたでも参加可能となっています。会員相互の交流や、知識を得たい方はぜひご参加ください。大宮近辺の会議室で、夕方6時30分より開始します。常時ホームページ上で案内をアップしますので、気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。



中小事業者向け省エネ診断を行っています

今年度も埼玉県省エネナビゲーター事業の事務局を担当しています。県から無料で派遣された省エネの専門家が、事業所の既存設備の運用改善・効率化、機械の設備更新などの提案をします。受診事業者は経費をかけずにコスト削減と同時に、省エネ、CO2削減につなげることができます。対象は、年間エネルギー消費量（原油換算値）が15klから1500klの県内中小事業所です。

さらに昨年度から始めた埼玉県省エネ促進プラットフォーム事業が、今年度も始まりました。中小事業所に省エネの専門家が訪問し、運用改善や設備改善のアドバイスを行いながら、個々の事業所に対応した省エネのトータルアドバイスを行います。専門家は技術的なことばかりでなく、経営面からもサポートし、昨年度の実績では、20件の事業所の省エネアドバイスをを行いました。今年度は、さらに深化させ事業所全体の省エネ計画作りをお手伝いしたいと思っています。セミナー等も開催しますので、ぜひ貴社の省エネの取組にご活用ください。



うちエコ診断受診者募集中

今年度も、家庭部門からの温室効果ガス排出量削減を進めるため、「首都圏ネットうちエコ診断実施事務局」としてうちエコ診断受診者を募集しています。主にさいたま市内在住・在勤の方、パルスシステム埼玉組合員の方を対象とし、それ以外の方も当団体における窓口診断にて対応しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。<https://www.kannet-sai.org/about/activities/uchieco2018.html>

団体正会員（企業）紹介

株式会社千葉工務店

◆会社概要◆

代表者：代表取締役 千葉弘幸

所在地：【越谷本社】埼玉県越谷市大成町6-237

【川越 自然の家工房】埼玉県川越市菅原町23-11

創立年：昭和40年（1965年）

事業内容：土木・建築工事の設計、施工、監理及び請負、大工工事、内装仕上工事に関する工事の請負及び企画、設計、施工、監理。店舗、マンション等のリフォーム及びリノベーションの企画、設計、施工及び監理、等

越谷市で昭和40年に創業してからすでに半世紀、そのときより自社設計、自社大工にこだわり一棟を大切につくり続けています。そして地域に密着した住まいのプロとして、お客様に真摯に向き合い、お客様の暮らしそのものをデザインしてまいりました。当社では厳選した体にやさしい自然素材や国産材を使用して「心地よく、美しく、長持ちする家」をご提供しています。特に地球温暖化や環境破壊など技術向上による問題が多々騒がれている中、よりよい住空間の提供が暮らしの向上につながると感じています。だからこそ本物の自然素材だけでなく、省エネ住宅の研究にも力を入れています。自然と共存、共栄してよりよい空間を提案できる、パッシブデザインを取り入れ、その性能を使いこなすためにも自らのエネルギー消費量を確認できるHEMS（Home Energy Management System）等の機器を元に、エネルギー効率のよいパッシブな暮らし方のアドバイスを始めています。過剰な省エネ対策を行うことなく、その土地の持つ自然の力、風土や周辺環境などの条件を鑑みた設計をすることで、お客様が使いこなせるコストバランスの良い住宅の提供を目指しています。



事務局からのお知らせ



新パンフレット「今日からできるMY COOL CHOICE」

COOL CHOICEの普及拡大を図るため、子どもから大人まで一緒に学べるパンフレットを今年度も新たに作成しました。表面では生活の中で出来る身近な“賢い選択”が紹介されており、右下のQRコードを読み取るとCOOL CHOICEに賛同できるようになっています。裏面は子どもが「お家のCOOL CHOICE」を学べるような塗り絵になっています。イベント等でご使用される際は、事務局までご連絡ください。



「第9回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」のお知らせ

恒例の「低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」は、今年度で第9回目を迎えます。規模、来場者数ともに年々拡大しており、今回は芝浦工業大学共催のもと、同大学大宮キャンパスにて開催予定となっています。今年度は今話題となっているSDGsの要素を取り入れ、テーマ毎に様々な角度から課題解決を図りたいと考えています。新しい取組として各団体によるパネル展示及び発表会も予定しています。今後、パネル展示に参加いただける団体を募集します。詳細は改めてお知らせしますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉 ～つながろう 広がろう 世代を超えて エコの環～

日時 2018年12月1日(土) 10:00～16:30 予定
会場 芝浦工業大学 大宮キャンパス
内容 午前) 基調講演、エコライフ DAY 表彰式(予定)
午後) パネル展示、発表会
テーマ別分科会同時開催

■インターンシップの受入れ

跡見学園女子大学からインターンシップに学生2名を受け入れ、見学会の引率やイベントで使用するツールの企画・作成などを体験してもらいました。



見学会受付の様子

作成したツールは実際にイベント会場で実演するなど、学校ではあまり経験しない業務に一生懸命取り組んでくれました。今後、この経験を活かして社会で活躍されることを期待したいと思います。

■表紙の写真より■



フランス・ストラスブールのトラム (LRT)

トラム導入とともに都心の歩行者専用ゾーン化・トラムの停留所整備と一体化した景観保全などにより、交通まちづくりの先進事例として評価が高い。

編集・発行

発行日 2018年9月28日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218

<http://www.kannet-sai.org/index.html>

閉館日: 土・日、祝日 開館時間: 9時～17時

情報やお知らせ等、是非お寄せください。

